校長賞（最優秀）

未来の環境への願い

第五学年　K・I

私は未来の環境のために、「なんとなく」をやめた方がいいと考えます。

私は今まで、環境はかいは、産業発展のために環境のことを考えずに、好き勝手やってきた大人たちが悪いと思っていました。

私も環境はいの原因になっていると思います。

しかし、自分の行動をふり返ってみると、

例えば、ドアをあけっぱなしで、電気もつけっぱなしの時があります。でもその時、私は、わざとではなく「なんとなく」で、意識しないでやっているので、今、意識しているところです。

また、世界には、色々な企業があって、環境にはいりょしている企業もあれば、そうでない企業もあります。

それらの商品を「なんとなく」選ぶか、環境のことを考えている企業の商品を選ぶかが、

20 × 20

環境がよくなるか、悪化するかの別れ道だと思います。

だからこそ、一人一人が「なんとなく」ではなく、しっかり考えて物事を選択することが大切だと考えます。

私は、そんな未来の環境を願っています。

20 × 20